



がっこうきょういくもくひょう ひと ひと ゆた なか みずか まな こころゆた ちいき あい こ いくせい
学校教育目標：「人と人との豊かなつながりの中で、自ら学び、心豊かでたくましく、地域を愛する子どもの育成」

五感を使った学び



間もなく夏休みに入る時期となりました。1学期の学びの「しめくくり」と「ふりかえり」が今月の重点 目標です。学びは必ずしもテストの数値だけで測れるものばかりではありません。小学校 での学びは多くの知識や技能を体得することが主目的ではなく、学び方を学ぶことが重要 ではないかと考えます。

子どもたちは、将来、社会に出て役立つための技能、知識、思考力・判断力などを日々学んでいます。学校では教科、領域を系統立ててそれぞれの学年に落とし込み計画的に学びの場を作っています。学校以外の実生活場面では、学んだことを実体験し、実感の伴ったものとして確かな生きる力 を身につけていきます。

私 たちは様々な「入口」から多くの情報 を取り入れています。一番思いつくのは「視覚」でしょうか。本を読む、映像を見るといった行為は最も一般的な手法です。ほかにも「聞く」ことも情報 を取り入れる重要な入口です。しかし、不思議なことに、見たり聞いたりして得た情報 は忘れやすかったり、記憶に強く残りにくかったりするものです。昔、子どものころ虫つかみをしたことやキャンプをしたこと、何かを作ったことなど実際に自らの体 を動かし、手触り、におい、時には味わいも含めた「五感」を働かせて得た知識や技能は強く記憶に刻み込まれ、時間がたってからも鮮明に思い起こされることがあります。

もうすぐ四十 日余りの夏休みが始まります。子どもたちにはぜひ、体 のすべてを使って様々な体験をし、実感を伴った学びが一つでも多く体得できる期間になればと思います。

こうちよう 村 ち あき ひこ
校 長 村 地 昭 彦



水の事故から



を守る!



「自分の命は自分で守る」、「水の楽しさと同時に水の怖さも学ぶ」。この二つは5、6年生のプール開きの際に私が子どもたちに話した内容です。学校ではプール学習の真ただ中です。日差しの強い日は特にプールから子どもたちの歓声が聞こえてきます。楽しいはずの「水」も一歩間違えると命にかかわります。プールだけではなく、梅雨時の今、特に気を付けたいのは降雨後に増水した溝、川、池などです。夏休みともなれば、慣れない場所のプールや海などに出かけることもあるかもしれません。入水前や水付近に近づく際の「気を付けたいこと」や「ライフジャケットの着用」など、水難防止策を大人とともに徹底し、安全に水とのふれあいを楽しみたいものです



6月中旬
6年生の練習一コマ

